

サービスニュース

バラスト水処理装置(HK)におけるセンサ類の校正について

弊社バラスト水処理装置(HK)をご使用いただき、心から感謝申し上げます。
今回はよくお問合せをいただくセンサ類の校正についてご案内いたします。

本システムでは、機能・安全性の維持と故障の未然防止のため、本船による1年毎の校正をお願いしています。校正管理が必要なセンサ類を一覧にまとめましたので、ご確認ください。

機器	タイプ	【HK, HK-E】, 【HK-R, HK-ER】, 【HK-C, HK-EC】
a) 流量計		○
b) UV センサ		○
c) 差圧発信器		○
d) 検塩計 (オプション)		○※1

○: 校正必要

※1 検塩計はオプションとなっていますが、設置されている場合は校正が必要です。

- ・対処方法の詳細については取扱説明書第5章-3.センサの校正をご確認ください。
- ・校正記録の様式は取扱説明書の最後に掲載している Calibration record of “○○”を参考にしてください。

模造品に注意をお願いします。IMO、USCG 共に認証機関で承認を受けた部品のみを使用する必要がありますので、純正品のみを使用してください。OEM を承認している部品は一切ございません。

校正のポイントをまとめましたので、ご確認ください。

流量計
1) バラストポンプが停止している状態で、流量計の表示が0になっていることを確認してください。
2) Sea to Sea でデバラスト運転をスタートさせてください。
3) バラストポンプを起動し、バラストポンプの出口圧力を試運転時のデバラスト運転での設定圧力に調整してください。(※ データは試運転報告書のデバラスト運転確認を参照してください。)
4) 本船システムの試運転報告書記載の流量(デバラスト)と測定された流量の差の絶対値を設定流量で除した値が15%未満であれば、流量計は正常となります。

UV センサ
※ 校正は外洋で行ってください。
※ 校正は1年毎に行い、有効期限を迎える5年目には交換が必要です。
1) UV センサボックスを取り外すために、UV リアクタ内部の海水を排出してください。
2) UV センサボックスをUV リアクタから外して、UV センサガラスを清掃の上、復旧してください。
3) Sea to Sea でバラスト運転をスタートさせてください。
4) システムが『Ballast Water Treating』の状態になったら、画面上部に表示されている『UV dose』及び『UV Illm.』の数字を記録してください。
5) 『UV Illm.』が13mW/cm ² 以上であれば、UV センサは正常となります。

差圧発信器
1) ゼロ点調整を行ってください。

検塩計(オプション)
1) 配管から検塩計を取り外すために、配管内の海水を排出してください。
2) 配管から検塩計を取り外し、検塩計表面の清掃をしてください。
3) 造水器で生成した清水(蒸留水)に検塩計を浸し、制御盤塩分濃度の表示が0となることを確認してください。

※校正の結果は、必ず校正記録簿に記録してください。

弊社サービスネットワークは下記 URL もしくは QR コードよりご覧いただけます。

<https://www.miuraz.co.jp/product/marine/maintenance/service.html>

ご不明な点がございましたら最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

今後ともご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

E メールアドレス (アフターサービス): hakuyo_mka@miuraz.co.jp

